

# 2025年12月期 決算説明資料

2026年2月  
株式会社福田組

証券コード：1899

# 目次

1. 会社概要	P3
2. 2025年12月期決算概要	P6
3. 2026年12月期通期見通し	P13
4. 中長期経営計画の振り返り	P18



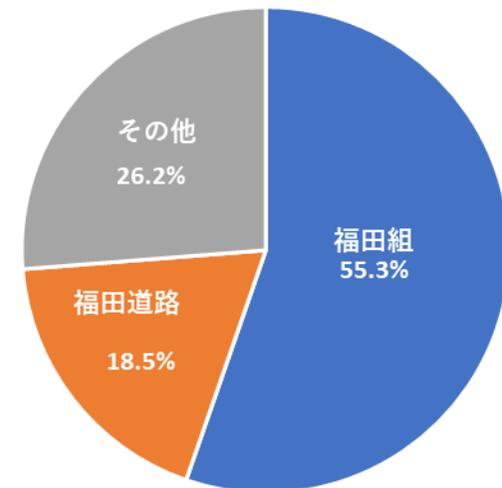
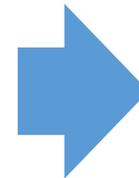
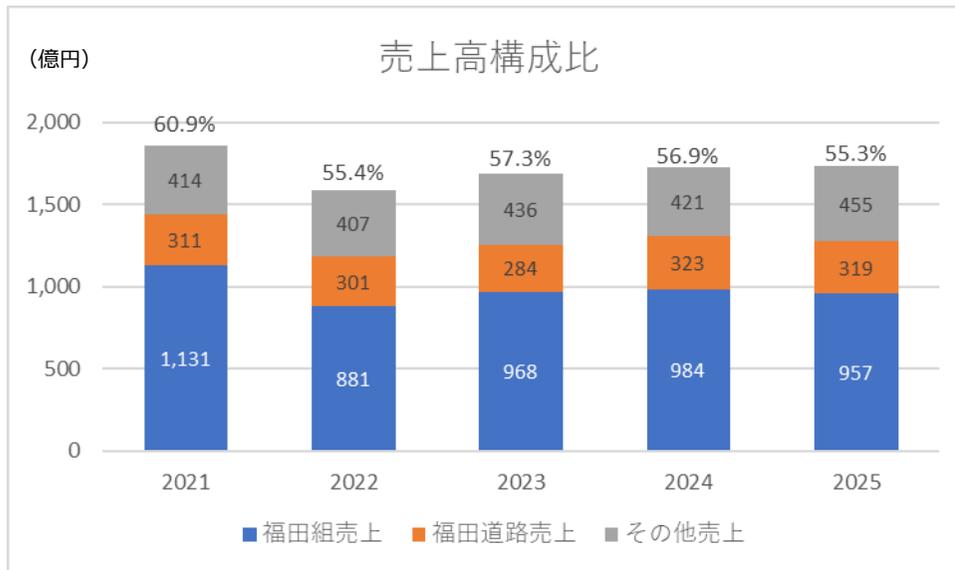
# 会社概要

商号	株式会社福田組 (Fukuda Corporation)
事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・新潟県を地盤として全国展開する総合建設（土木・建築）会社</li><li>・当社の企業集団は、当社、子会社25社、関連会社他4社で構成</li><li>・優良工事表彰・優良建設技術者表彰を数多く受賞</li></ul> <p>*平成26年度以降、国土交通省「工事成績優秀企業」認定を継続</p>
創業	1902年（明治35年）1月
設立	1927年（昭和2年）12月
業績	売上高1,679億円、営業利益77億円（連結：2025年12月期）
資本金	51億円（2025年12月末現在）
本社所在地	新潟県新潟市中央区一番堀通町3-10
東京本社	東京都千代田区九段北3-2-4
支店・営業所	新潟県以外に北海道、東北、東京、名古屋、大阪、九州など、全国
従業員数	2,226名（連結：2025年12月末日現在）

# 売上高構成比

**福田組単体の売上高構成比は55.3%**  
**福田道路、その他の業績は安定的に推移**

売上高構成比  
(2025年12月期)



※各構成比にあたっては、連結調整前の個別数値を使用しています。



# 2025年12月期決算概要

## ゆるやかな増収・増益

売上高	1,679億円	(前期比	0.8% 増)
営業利益	77億円	(前期比	1.4% 増)

**売上高**：前期のような大型開発不動産の販売売上がなく反動減となった親会社の減収を、好調な子会社群が支え連結で増収。

**営業利益**：親会社では採算性が向上した建築事業が増益となるも、前期のような大型開発販売利益がなく、単体では若干の減益となった。  
一方、大型案件の竣工により利益率増となった道路舗装系子会社や一昨年より採算性の高い災害復旧関連工事を抱えてきた土木系子会社、都心部で建築リニューアル事業を展開する子会社が全体を押し上げ、連結で増益。

# (連結) 2025年12月期決算



前年比で増収増益。売上高は修正業績予想を若干下回る。

単位：百万円

	2024/12 ①	2025/12 ②	増減 ②-①	増減率	2025/12 修正業績予想 (11/7修正)
売上高	166,589	<b>167,960</b>	1,370	0.8%	170,000
売上総利益	17,824 (10.7%)	<b>18,529</b> <b>(11.0%)</b>	704	4.0%	18,000 (10.6%)
販管費及び 一般管理費	10,159 (6.1%)	<b>10,759</b> <b>(6.4%)</b>	600	5.9%	11,000 (6.5%)
営業利益	7,665 (4.6%)	<b>7,769</b> <b>(4.6%)</b>	103	1.4%	7,000 (4.1%)
経常利益	7,957	<b>8,127</b>	169	2.1%	7,300
親会社株主帰属 当期純利益	5,309	<b>5,548</b>	239	4.5%	4,800

※カッコ内は対売上高比率

# (連結) 2025年12月期決算概要：セグメント別売上高



土木工事及び不動産セグメントの減少分を建築工事セグメントの増加でカバー。

単位：百万円

セグメント名		2024年12月期 ①	2025年12月期 ②	増減 ②-①	増減率
事業別	土木工事	69,765	<b>68,731</b>	△1,033	△1.5%
	建築工事	78,122	<b>83,322</b>	5,199	6.7%
	建設附帯	12,518	<b>12,893</b>	374	3.0%
	不動産	5,583	<b>2,306</b>	△3,277	△58.7%
	その他	599	<b>707</b>	108	18.0%
セグメント 小 計		166,589	<b>167,960</b>	1,370	0.8%
全社費用		—	—	—	
合 計		166,589	<b>167,960</b>	1,370	0.8%

※ 建設附帯セグメント：主として子会社における合材製造・販売部門と重仮設材リース部門が対象

土木工事及び不動産セグメントは、共に親会社の反動減。  
建築工事セグメントは、親会社及びリニューアル事業子会社の売上が大きく増加。

# (連結) 2025年12月期決算概要：セグメント別営業利益



土木工事及び不動産セグメントの減少を建築工事及び建設附帯セグメントの増加でカバー

単位：百万円

セグメント名		2024年12月期 ①	2025年12月期 ②	増減 ②-①	増減率
事業別	土木工事	3,587	<b>3,184</b>	△403	△11.2%
	建築工事	3,714	<b>4,446</b>	731	19.7%
	建設附帯	△388	<b>△90</b>	298	76.8%
	不動産	877	<b>356</b>	△521	△59.4%
	その他	31	<b>35</b>	4	13.0%
セグメント小計		7,822	<b>7,932</b>	109	1.4%
全社費用		△156	<b>△162</b>	△6	△3.8%
合計		7,665	<b>7,769</b>	103	1.4%

※ 建設附帯セグメント：主として子会社における合材製造・販売部門と重仮設材リース部門が対象

建築工事セグメントは、売上高及び利益率の上昇により増加。建設付帯は重仮設材リース子会社のグループ外の販売シェアが増え、利益増。土木及び不動産セグメントは、売上高の減少により、営業利益額も減少。

# (連結) 2025年12月期決算概要：貸借対照表



流動資産及び固定資産が増加。負債合計はほぼ変わらず。

単位：百万円

	2024/12末 ①	2025/12末 ②	増減 ②-①	備考
流動資産	105,433	<b>107,630</b>	2,196	現金預金：△2,026 売上債権：+817 棚卸資産：+1,832 未収入金：+1,436
固定資産	37,380	<b>39,845</b>	2,465	有形固定資産：+588 投資その他資産：+1,895
資産合計	142,814	<b>147,476</b>	4,662	
流動負債	50,004	<b>49,540</b>	△463	仕入債務：△4,542 短期借入金：△420 未成工事受入金等：+3,705
固定負債	7,402	<b>7,769</b>	367	
負債合計	57,406	<b>57,310</b>	△96	
純資産	85,407	<b>90,166</b>	4,758	
負債純資産合計	142,814	<b>147,476</b>	4,662	
自己資本比率	59.3%	<b>60.9%</b>	1.6%	

流動資産：棚卸資産及び未収入金（主に未収消費税）が増加。

固定資産：株式市況を受け、投資有価証券および退職給付に係る信託資産の評価増。

# (連結) 2025年12月期決算概要：キャッシュ・フロー



## 現金同等物期末残高は減少

単位：百万円

	2024/12 ①	2025/12 ②	増減 ②-①
現金同等物 期初残高	29,418	<b>31,946</b>	2,528
営業活動C F	5,877	<b>2,574</b>	△3,303
投資活動C F	△1,979	△ <b>1,127</b>	852
フリーC F	3,897	<b>1,446</b>	△2,451
財務活動C F	△1,369	△ <b>2,572</b>	△1,203
現金同等物 期末残高	31,946	<b>30,819</b>	△1,126

<営業活動C F> 不動産事業受入金の増加により収入超過となったものの、それを上回る仕入債務の減少等により前期と比べて収入超過幅は減少。

<投資活動C F> 有形固定資産の取得による支出は増加したが、定期預金解約収入が生じた為、支出超過幅は減少。

<フリーC F> 営業活動C Fの減少により、フリーC Fは減少。

<財務活動C F> 配当金の支払いが増加したことにより、前期と比べて支出超過が増加。



# 2026年12月期通期見通し

# (連結) 2026年12月期業績見通し



売上高は増収、利益は減益を見込む。

単位：百万円

	2025/12① (実績)	2026/12② (計画)	増減 ②－①	増減率
売上高	167,960	<b>175,600</b>	7,639	4.5%
営業利益	7,769	<b>7,600</b>	△169	△2.2%
経常利益	8,127	<b>7,800</b>	△327	△4.0%
親会社株主帰属 当期純利益	5,548	<b>5,000</b>	△548	△9.9%

## <売上高>

・親会社の前年からの繰越工事高が増加していることが影響し、売上高は増収の見通し。

## <利益>

・利益を押し上げる大型案件の竣工予定はないが受注時利益率が増加している親会社に対し、前年並みの好採算要素が少なく、人手不足や労務単価の上昇リスク等の懸念から子会社群は慎重。若干の減益を見込む。

# (個別) 受注高 見通し

引き続き、1,000億円の安定受注を目指す。

単位：百万円

	2025/12 <sup>①</sup> (実績)	2026/12 <sup>②</sup> (計画)	増減 ②-①	増減率
受注高	123,433	<b>100,400</b>	△23,033	△18.7%
(土木)	(21,112)	<b>(26,000)</b>	4,887	23.1%
(建築)	(101,495)	<b>(74,000)</b>	△27,495	△27.1%
(不動産)	(825)	<b>(400)</b>	△425	△51.5%

## <土木>

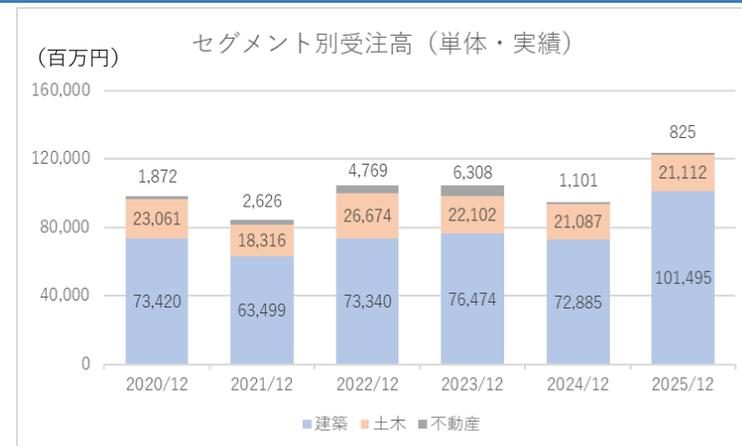
・官庁工事の安定的な受注を図りながら、民間工事の受注量の増加を目指す。

## <建築>

・旺盛な建設需要を背景とするも、限られた人的資源を効率的に配置できる水準を見込む。

## <不動産>

・2026/12期は端境期のため、次なる大型案件の受注を目指す。



# (個別) 土木・建築の受注高・次期繰越工事高



建築の受注高が大きく増加し、次期繰越工事高も増加。

単位：百万円

	2023/12	2024/12 ①	2025/12 ②	増減 ②-①	増減率
受注高*	98,576	93,972	<b>122,607</b>	28,635	30.5%
(土木)	(22,102)	(21,087)	<b>(21,112)</b>	(25)	0.1%
(建築)	(76,474)	(72,885)	<b>(101,495)</b>	(28,609)	39.3%
次期繰越工事高*	112,584	112,135	<b>139,837</b>	27,701	24.7%
(土木)	(37,812)	(34,676)	<b>(33,283)</b>	(△1,392)	△4.0%
(建築)	(74,771)	(77,459)	<b>(106,553)</b>	(29,094)	37.6%

\* 不動産開発の受注は除く。

# (連結) 安定的な配当・株主還元を実施



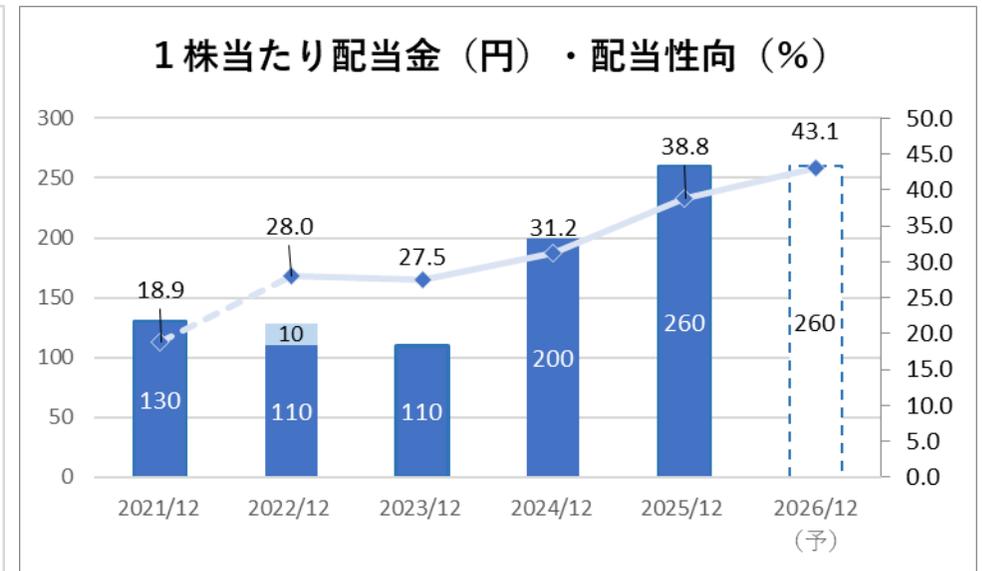
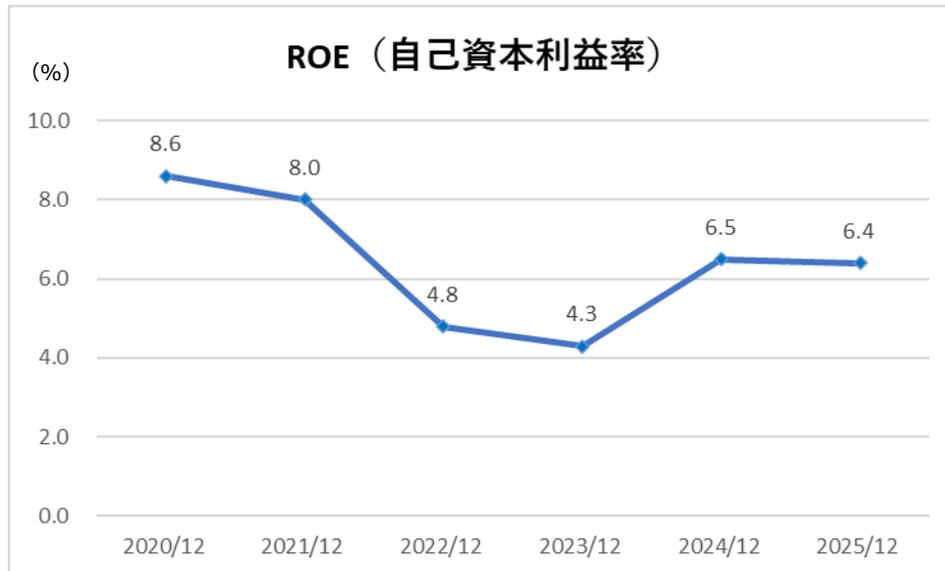
株主還元：当初計画を上回る業績結果により、2025年12月期は増配を行う。

(配当性向38.8%)

2026年12月期は基本配当を260円とし、更なる利益還元に努めていく予定。

2025年12月期 : 260円

2026年12月期 (予想) : 260円





# 中長期経営計画の振り返り

# (連結) 中期経営計画2025結果

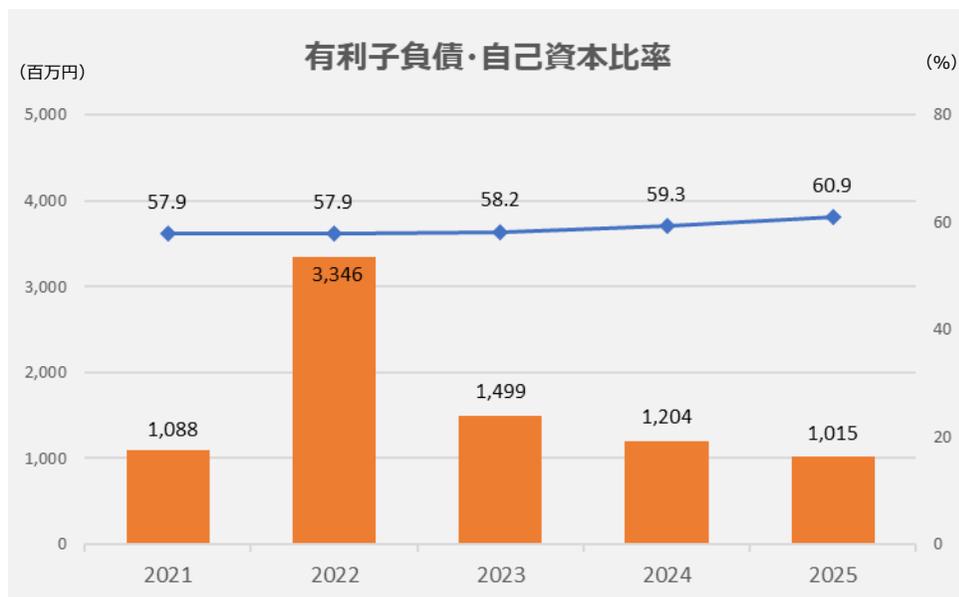
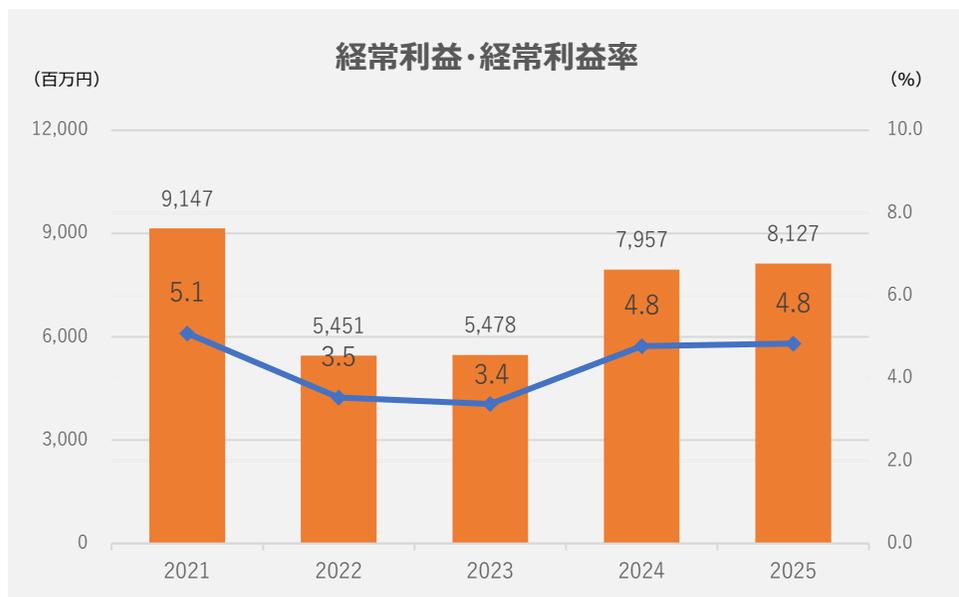
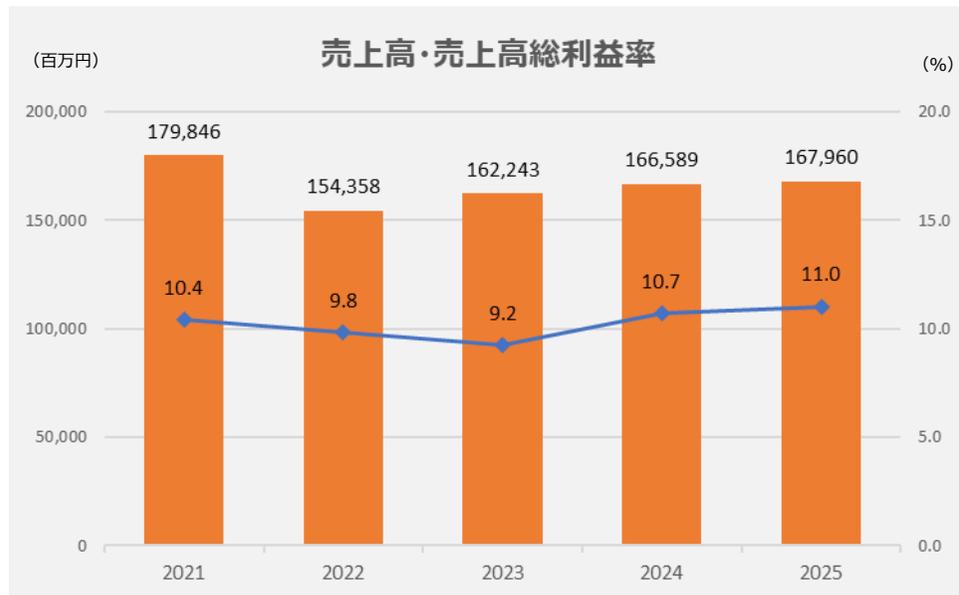


- ・持続的な成長のため、質の充実、経営基盤づくりに傾注した4年。
- ・定量面では、建築を中心に受注は旺盛も、人的制約もあり売上・利益目標はいずれも未達。資本効率改善に課題が残るも、増配をはじめとした積極的な株主改善によって改善を志向。コロナ禍もあり、投資判断が遅れ投資金額は計画未達。

新長期ビジョン、新中期経営計画は、2026年3月中旬頃の開示に向けて策定中。

項目	2023年12月期 実績	2024年12月期 実績	2025年12月期 実績	2025年12月期 中期経営計画(参考)
売上高	1,622億円	1,665億円	1,679億円	1,850億円
営業利益	52億円	76億円	77億円	84億円
営業利益率	3.2%	4.6%	4.6%	4.5%
自己資本比率	58.2%	59.3%	60.9%	50.0%
ROE	4.3%	6.5%	6.4%	8.0%程度
配当性向	27.5%	31.2%	38.8%	20.0%以上
投資額 ※ ( ) は累計額	12億円 (31億円)	17億円 (49億円)	16億円 (65億円)	75億円

## (ご参考) 主要業績指標の推移



本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、  
本資料の発表日、現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、  
実際の業績は、様々な不確定要素により異なる場合がございますことをご了承ください。

# 100年先も誠実



**株式会社福田組** 証券コード：1899

## 2025年12月期決算説明資料

### 2026年2月

連絡先：経営企画部 経営管理室 TEL 025-266-9199（大代表）